

経済倶楽部便り

◆東京◆ 8月の猛暑が続くなか、経済倶楽部では、20日間強の時間をかけて、半世紀ぶりに講演会用ホールの改築が行われています。現在のホールは1960年に竣工した東洋経済ビルの9階にあります。これまで設備改修は部分的なものは何回も行われてきましたが、今回のような全面改修は初めてです。この改修で、内装

が新しくなるほか、調光可能なLED照明や音響機器も最新機器に替えられ、防災・安全面の機能も向上しました。9月から講演会はすべて一新されたホールで行われることとなります。

「新しい酒は新しい袋にもれ」の格言ではない

ですが、経済倶楽部も新しいホールでフレッシュな講演会に取り組みたいと思います。

9月の講師は森本敏・拓殖大学特任教授、大塚宣夫・医療法人社団慶成会会長、西村豪太・『週刊東洋経済』編集長代理、若田部昌澄・早稲田大学教授を予定しています。

◆中部◆ 名古屋の会員の中で今も聞かれるのは、「東海銀行復活論」です。肌理の細かい金融サービスを懐かしむゆえですが、今その空白を埋めているのが大垣共立銀行、十六銀行、百五銀行など岐阜、三重など他県の金融機関というのも面白い現象です。ただ、その分、金利競争がより熾烈になっていることは良い面です。

9月の講師は江口忍・共立総研副社長、政治評論家の田中秀征氏です。

(日暮良一)